

市民参画型障がい者社会参加促進等創発事業（草加市）

【目的】

法的な義務付けや福祉制度の枠組みにとらわれずに、まちづくりの視点を加味し暮らしの中の多様な側面で地域社会(市民、企業等)とのつながりを強化し、民間主導の取組を創発する仕組みを構築することで、地域共生社会の実現を目指す

【概要】

(※R5-7の3か年事業の1年目)

- ①市域調査の実施
- ②啓発イベントの開催(福祉+プラスのプレイヤーの確保)
- ③福祉+プラスのまちづくりコンセプトブックの作成/ワークショップの実施



①市域調査



- 【ヒアリング調査】
- ・市民
 - ・障がい関係団体
 - ・企業・・・等

結果を分析し、今後の展開の検討

②周知・啓発イベントの開催



- ▶ イベントの開催
- ▶ 広く市民等が参加
- ▶ プレイヤーの発掘

③コンセプトブック作成

- ▶ 民間主体の行動計画
- ▶ 事業の目的の共有
- ▶ 2~3回の開催
- ▶ 市域の障がい当事者、市民、支援団体等の参画

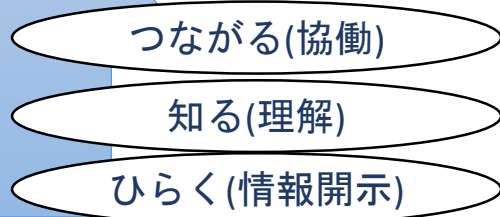
ワークショップ

- ▶ 福祉と地域が同じ目的
- ▶ 障がい別のグループ
- ▶ 先進的な取組を行っている団体を軸
- ▶ 実践からつながりを広める

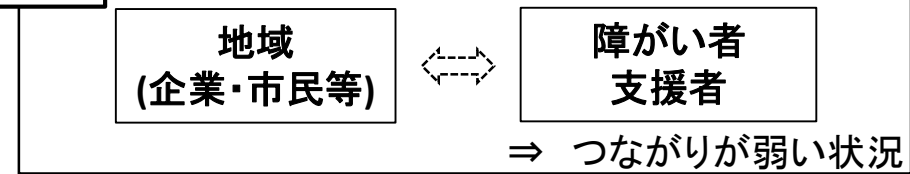
将来

障がいの有無にかかわらずすべての市民が幸せを感じる市へ

プロジェクトの創発



現在



要望額：870万円（総事業費：1,309万円）補助率：2/3